



MIDGAR UNDERGROUND

CAPTER1:ティファ敗潤乳漏

Abura
katabura

since 1995

for ADULT only

人類による
魔晄エネルギーの
乱用・乱費により
枯渴寸前今まで
滅ぼしてしまった
星のライフルストリーム

それによつて
もたらされた災厄は
星全体に壊滅的な
打撃を与えた。

そんな…全ての人々が、絶望の淵に
追いやられた
あの日から
3年の月日が流れた

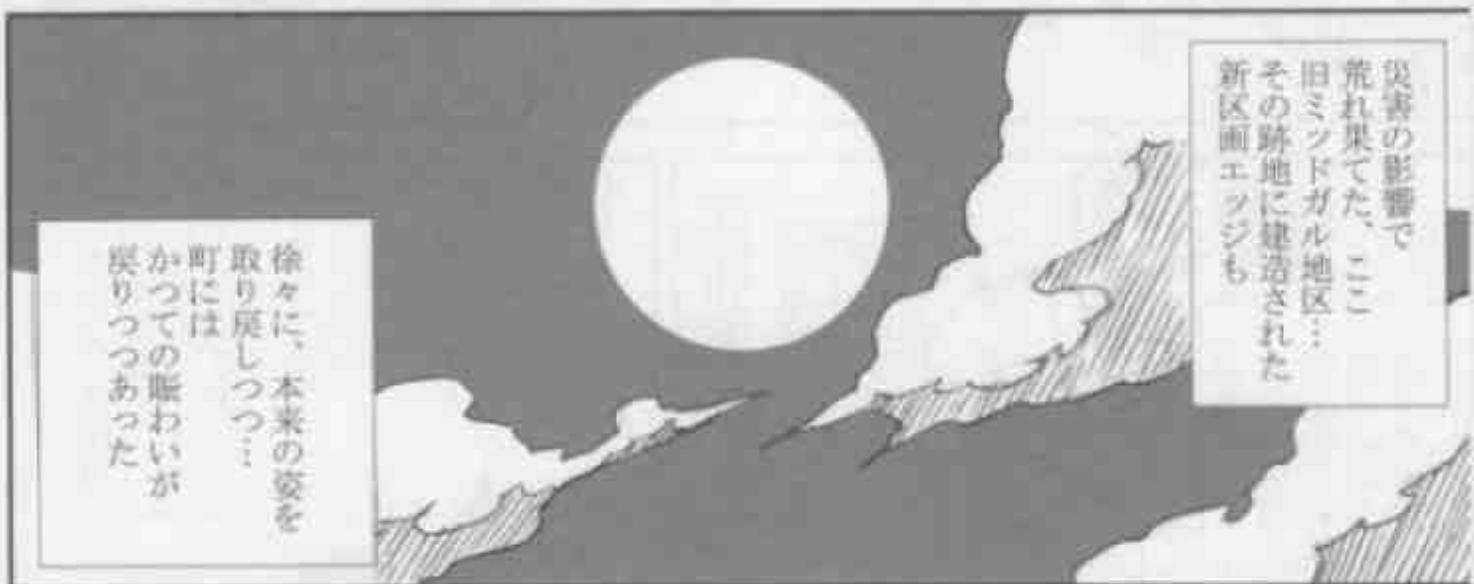


あの日
生きる希望を
無くした人々も
徐々に明るさを
取り戻し始め

シホント、人間は
強い生き物
なのだと
つくづく思う。：



はーい



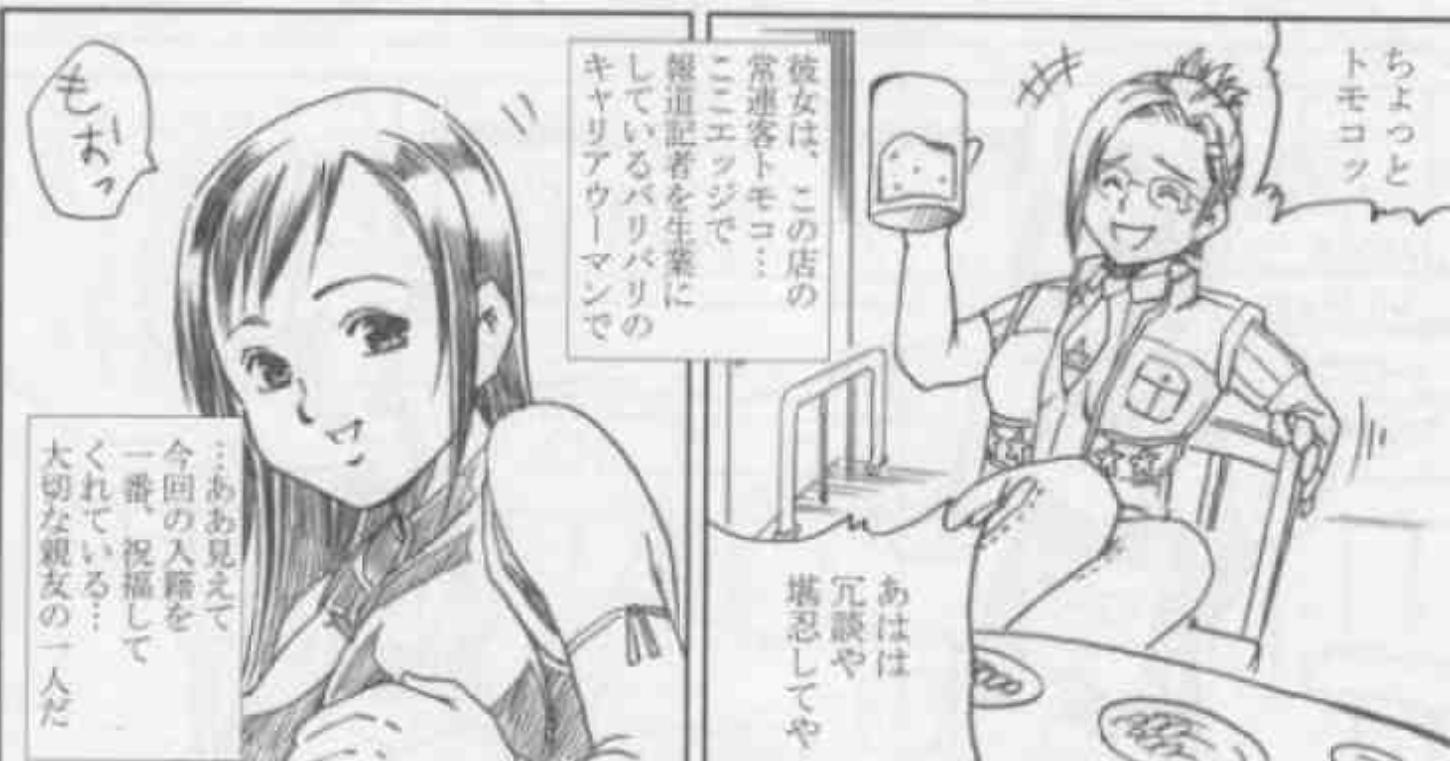
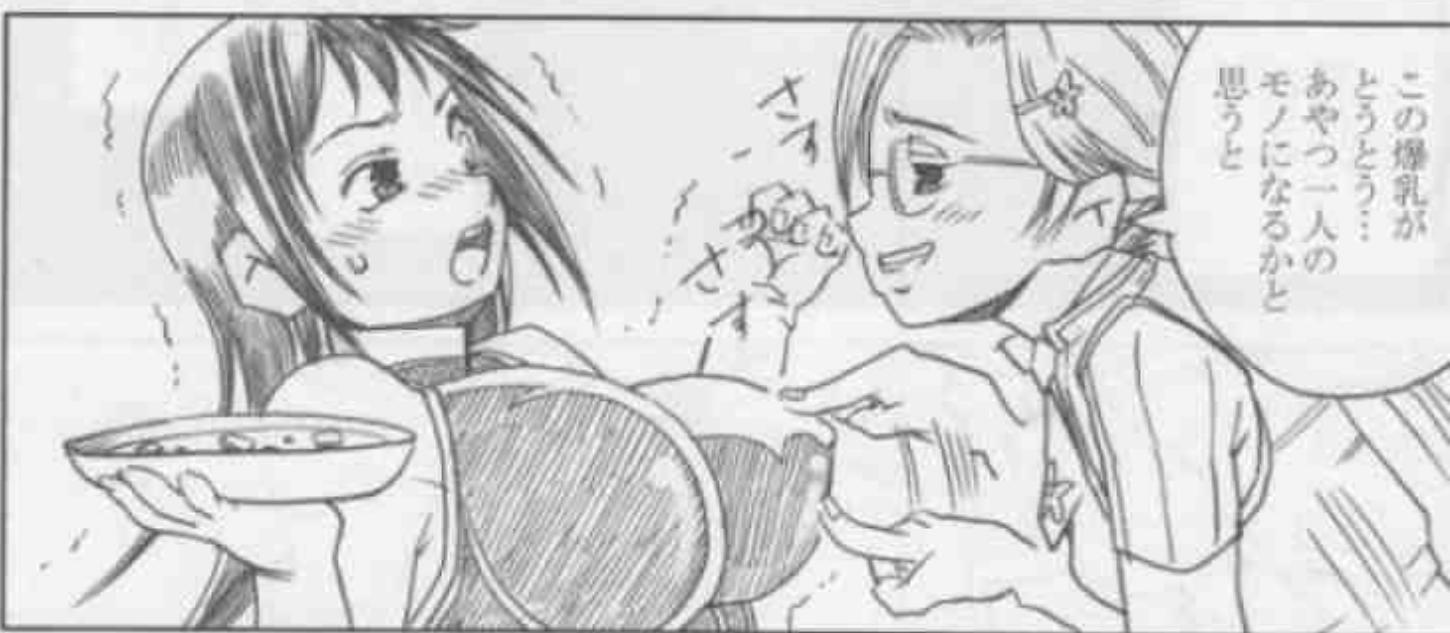




















あたり一面を
覆い尽くす
大量の血痕と精液

四肢は
鋭利な刃物か
何かで、バラバラに
切断され

それは…さながら
『芋虫』の様な
状態だった
そうよ

※この箇所は、映像表現として
不適切と自主的に判断したため
後日、規制いたしました





※この箇所は、映像表現として不適切と自主的に判断したため後日、規制いたしました



狂気に駆られた
男達に
無理矢理
輪姦されて…



こらッ
いい加減にしいや
本気で
不謹慎やで



やるばり、そうち
この子、感じて…
ドラングを
やつてる!







蟲を愛する…
帝王ゼルラー

その異常性欲の
追求の果てに完成した

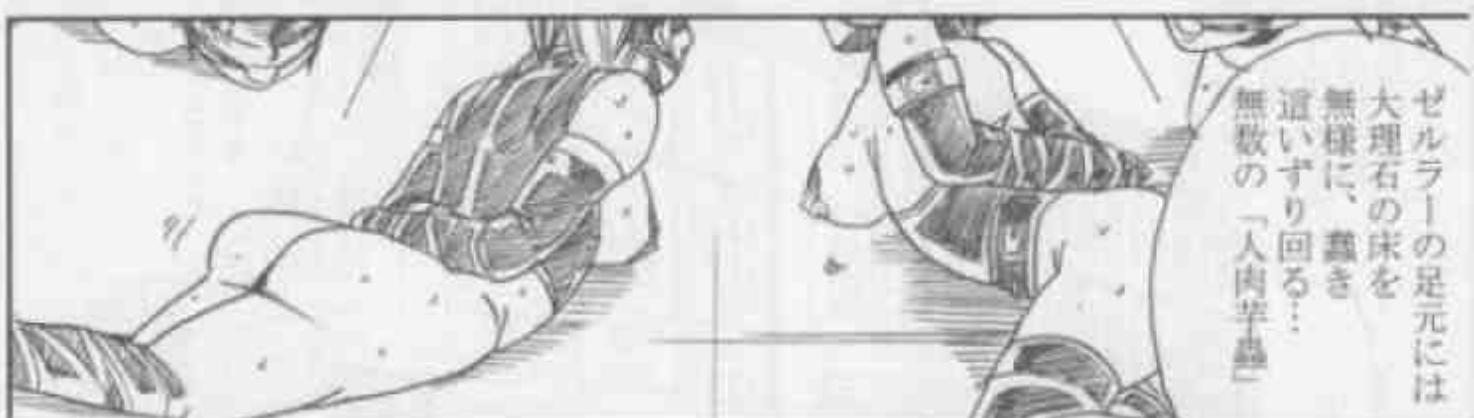
類廻と享楽の館

「人蝶迎賓館」



その狂氣の空間を
構築するために
構み出された…
一蝶に擬態された
「人蝶藝術」の
数々…

ゼルラーの足元には
大理石の床を
無様に、蟲き
這いすり回る…
無数の「人肉芋蟲」



…そして
ゼルラーの異常性は
それだけに…「人蝶
藝術」の追求だけに
留まらなかつた

「肉桶姫柱」と
呼ばれる
蝶を飾るオブジェ

「アゲハ女給」と
呼ばれる
客をもてなす
ラウンジガール



逃げ出そうとした
「人喰は技術作品」は
容赦なく、
四肢を切斷され
屋敷裏のゴミ捨て場に
そのまま捨てられた

三崎町に廢らず
ゼルラーに
指向かう者
裏切ろうとした者は
みな例外なく
ズタズタに切り刻まれて
処刑された

「その通りだ

※この箇所は、映像表現として
不適切と自主的に判断したため
後日、規制いたしました

ゴミ捨て場に
大量に放置される
バラバラ遺体は
いつしか
本物の革蟲と…

「ゼルラーの肉蟲」と、
囁かれる様になつたんだって

※この箇所は、映像表現として
不適切と自主的に判断したため
後日、規制いたしました

最後には、13番街の
シャフトを落とされ
組織は廃滅的な打撃を受けた
ゼルラー自身も…
その場での難こそ
うまく逃れたものの
最終的には潜伏先で
裏切られ、アジトと一緒に
かかれたそうやで

それでも、そんな
帝王ゼルラーの
支配と繁栄の日々も
長くは続かなかつた…
神羅グループとの
抗争激化により
勢力は縮小…

見された遺体は
黒焦げで、本人かどうかも
分からぬほど
損傷が激しく、何の因果か
分析していくそうやわ



…そう、私は
知っている
：確かに
あの時、あの場所で
ゼルラーは死んだ

サキだって、その事は
知っている
ハズなのに…
どうして
電話で、あの子…

…サキさんの
遺体の損壊状態が
「ゼルラーの肉蟲」と呼ばれる処刑方法に似ていたのは事実で



捜査当局も注目はしているそうだけど
：ゼルラー本人はもう死んどるし
現場の状況を見る限り複数犯の可能性が高い



それ
さんせ
一つ！

…正直
その後の話は
よく覚えていない



私の頭の中は
忌まわしい
過去の記憶と…

ゼルラーが
生きていた
サキの最後の言葉の：
それが、もたらす意味を
考える事で
精一杯だった：

：ああ、少しずつ
封印して来た過去が：
目を背け続けて来た
あの日の記憶が
否応なく、甦れる：







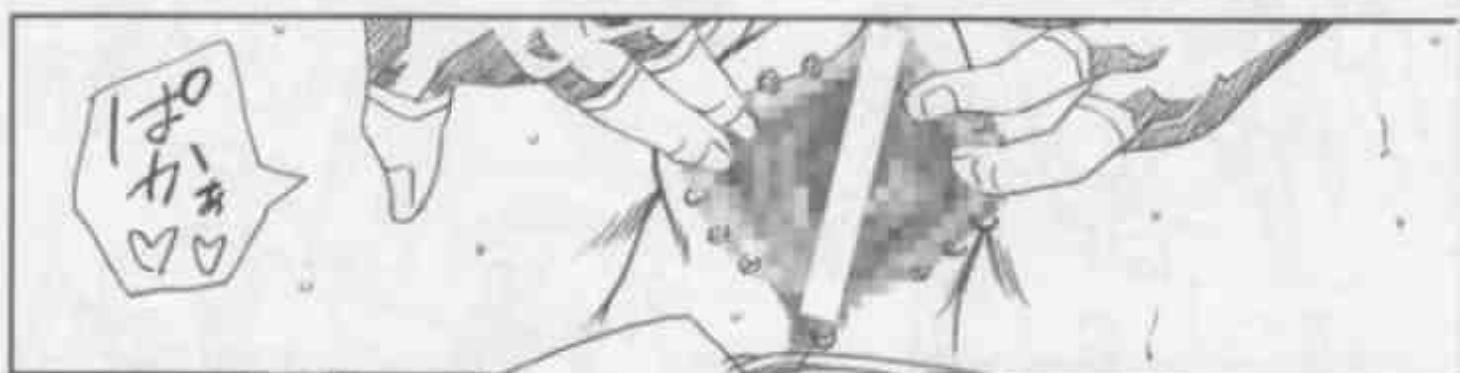
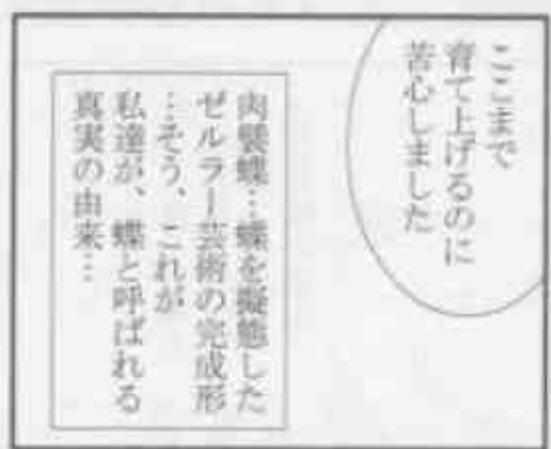


うむむ…当に
「人蝶」の宴ツ
…なるほど
「肉蟲」達による
官能の世界ですな





肉蝶麗人：それは
後に、人々から
「肉製蝶」と蔑すまれる
ゼルラーが最高傑作と
自負する作品





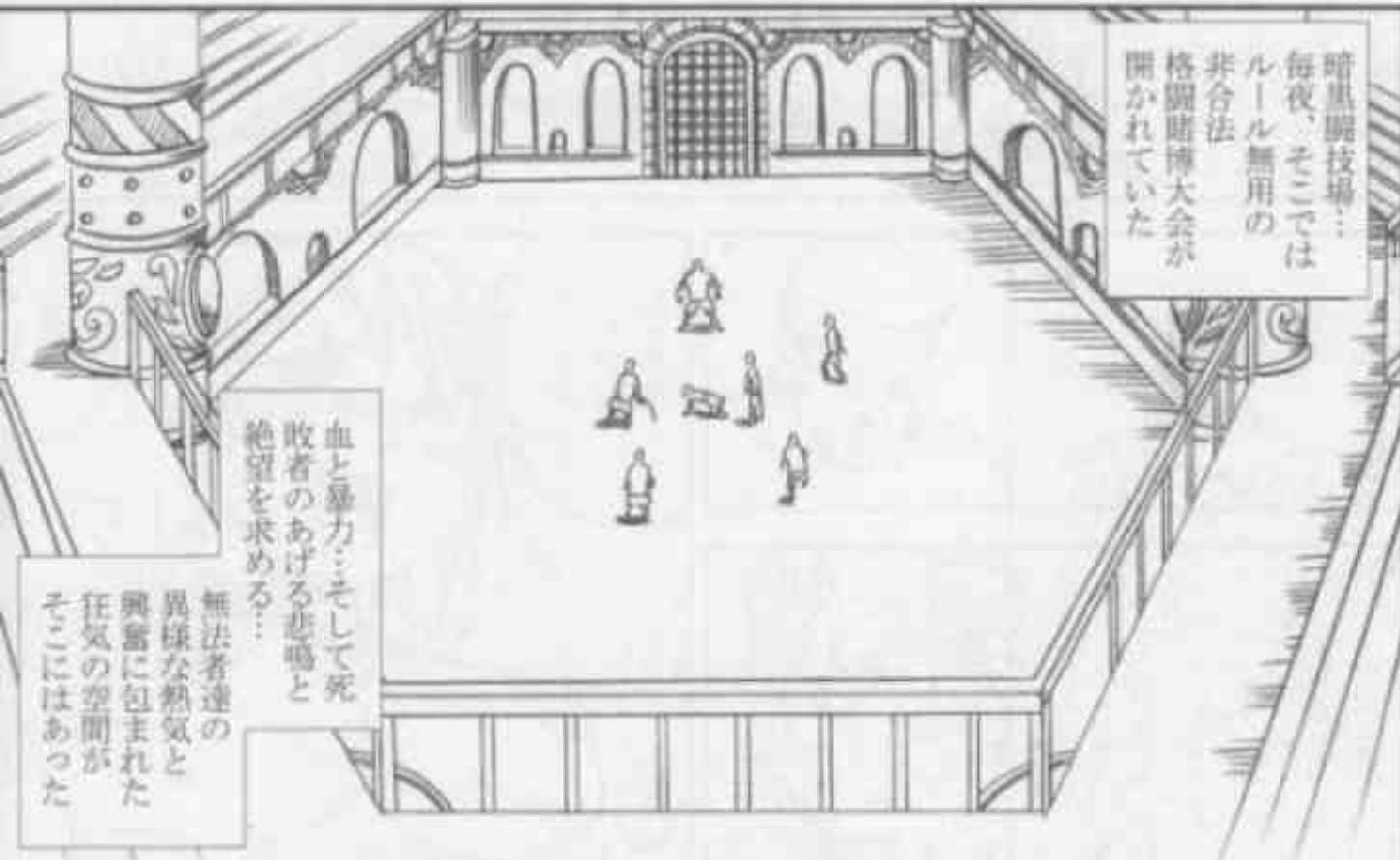
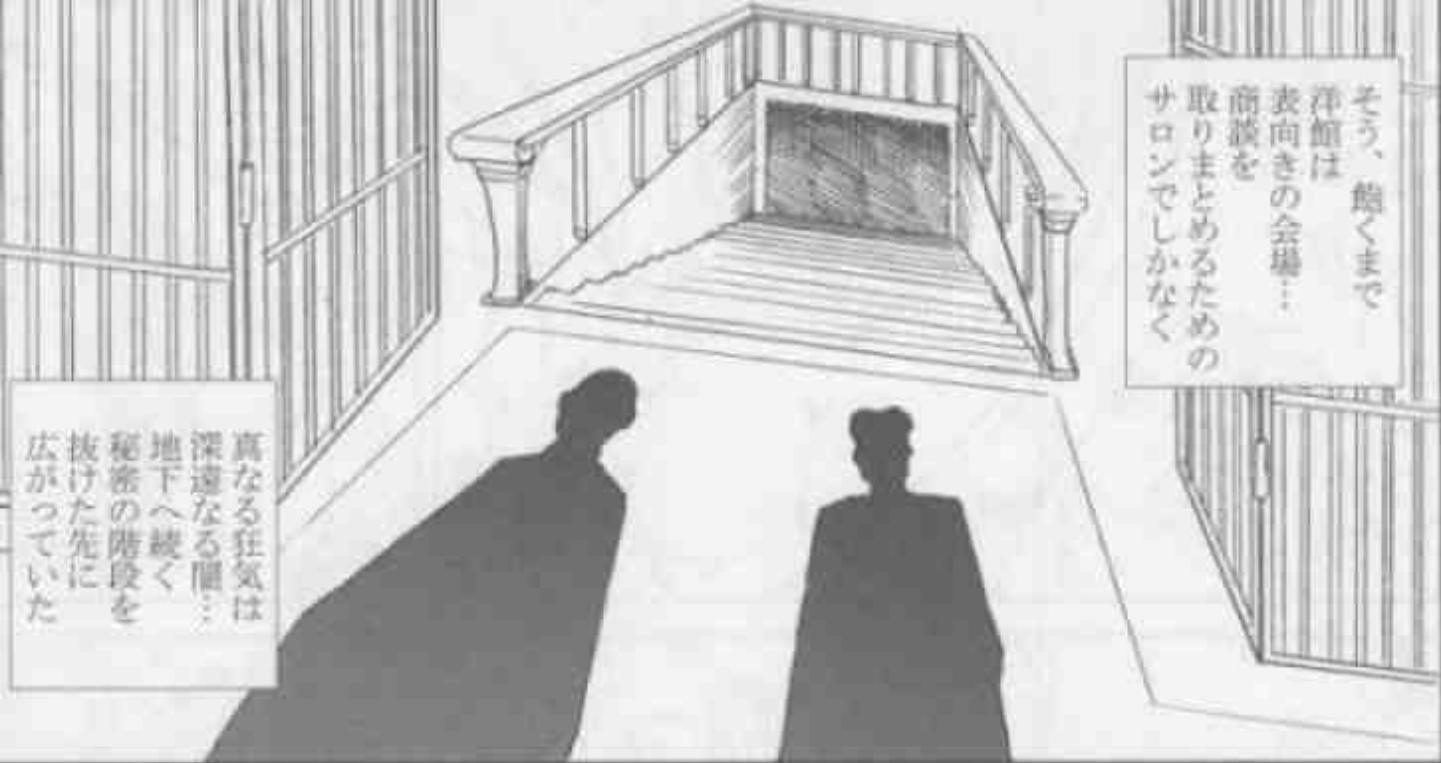
思い出したくもない屈辱の日々



好奇のまなざしが、私の局部に注がれる

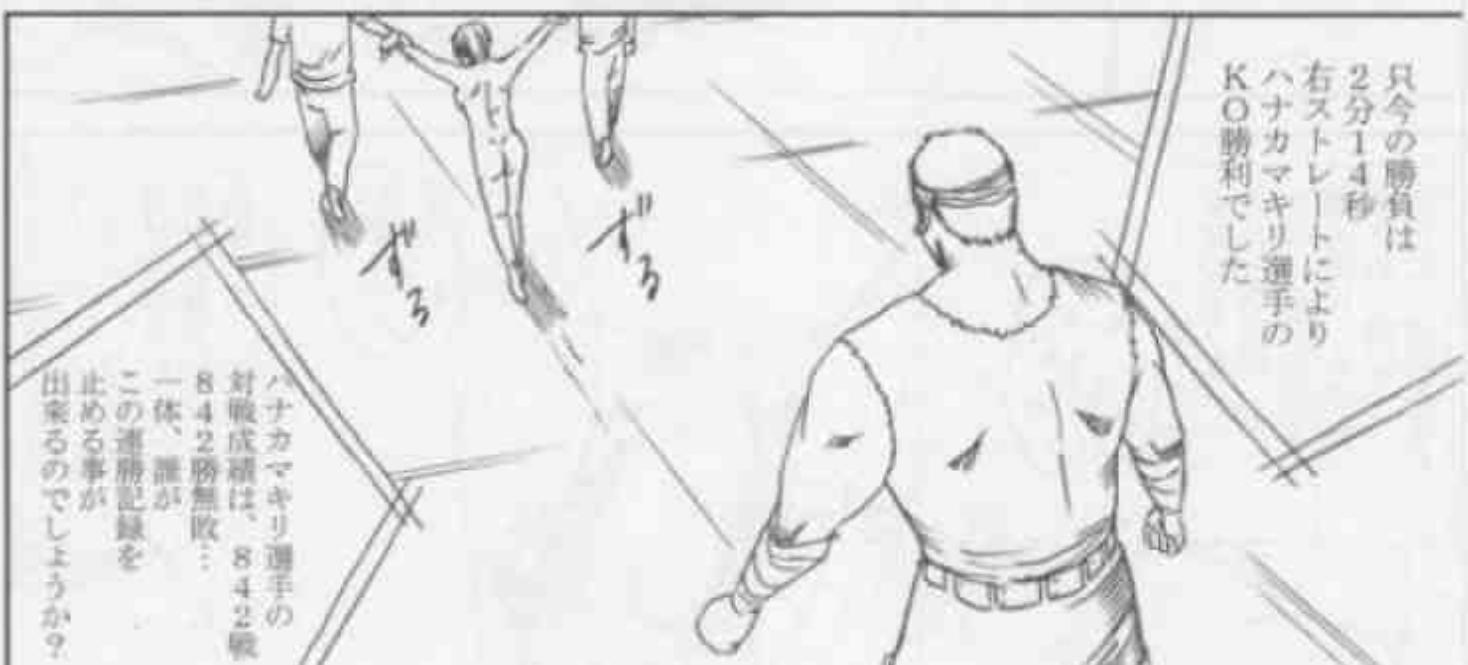














上物のティファアには
告段は参戦させないのでですが
他ならぬ伯爵のためでしたら
早く送り出しましょう

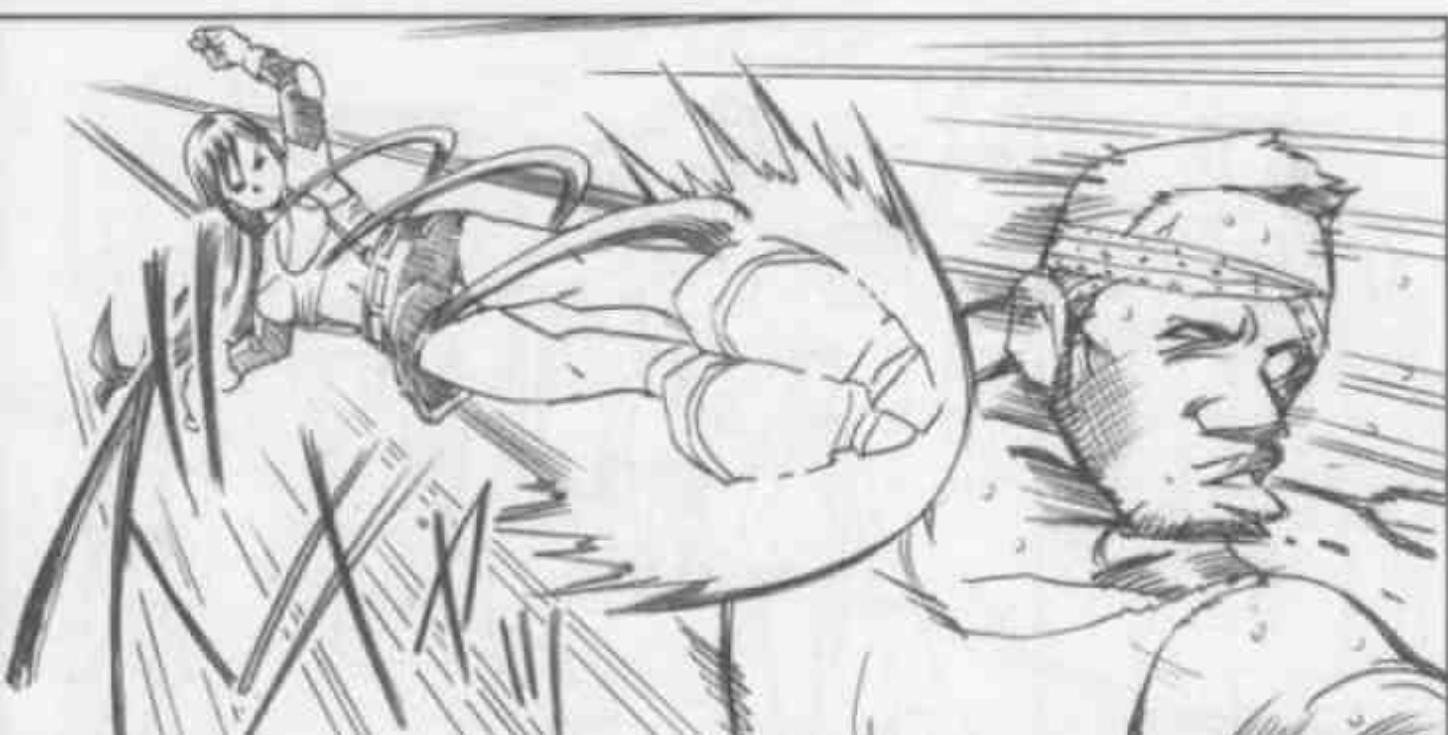


「でも、私は
久々に戦える事に
少しだけ
心が弾んでいた

赤コーナー
ティファリ
ロブ・ハート選手
身長167センチ
48キロ

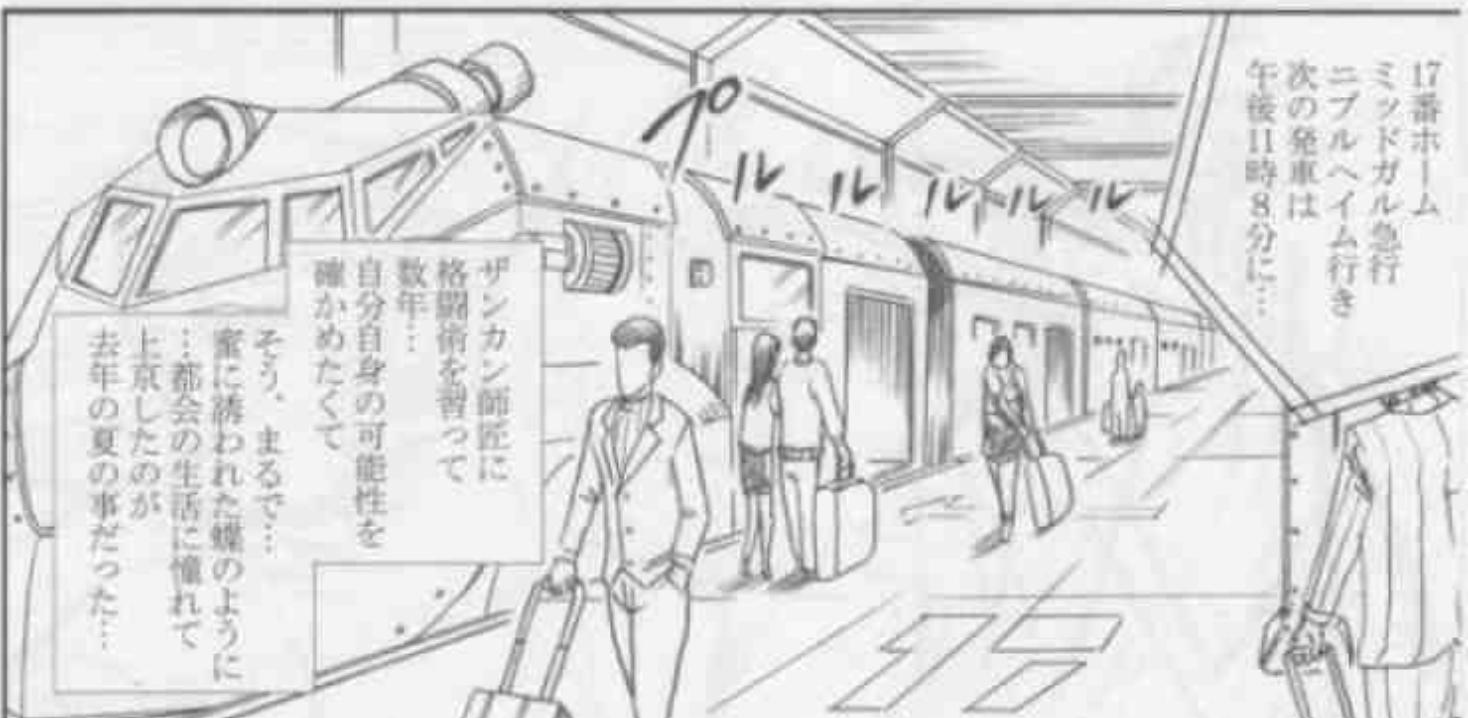
オフズは、9対1
やはり圧倒的に
ハナカマキリ選手に
偏りました







あの頃の…希望に満ち溢れた自分を







あの頃の…連戦連勝の毎日のように！







思ひぬ生贋の抵抗で
堵着心に火がついた
観客のボルテージは
最高潮に達して
いるようだつた



気持チイイコトガ、ハジマルダケ…





無心に…一匹の
ケダモノは
貪り放くきんとする



ぐい

やつ



己が勝者である事を
許すかのように、
そのケダモノは、己の
肉棒に串刺しにされ
る獲物の貪れな顔を
覗賞する

えへへへ

アハハハ

そんな無様な私に
親友達は
好奇の眼差しを
送り続ける

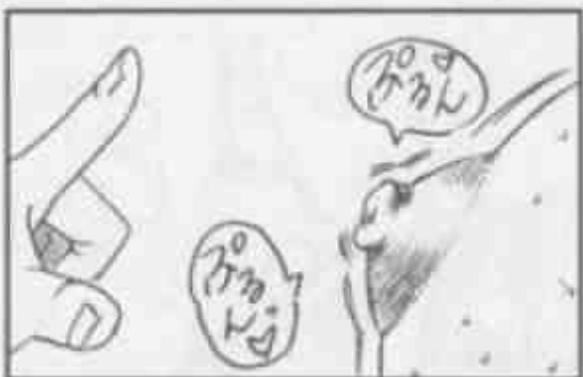








よくもまあ…
こんな開乳
ぶら下げて
あんなにも
戦えるもんだな



コイツ
乳首
捕まされただけで
イツちまい
やがつたぜ



名前すら知らない
その男は
そう言い放つと
アソコが変形する隙に
激しく…容赦なく
私を、突き上げた



男達は
分かっているクセに
わざわざ言葉にして
私を刺り続ける





精液まみれの私、悔しくて…、悲しかった…

…それでも
身体は、なおも
熱く…

…意思に反して
男の肉竿を
締め上げる



そして、全身に…
果てることなく
浴びせかける精液で
何度もとなく、無様に
絶頂を迎えた



心は拒絶して
いるに…
身体は…
地獄のような
日々だった







クスリに溺れた者達は
更なる深みへ…泥沼に墮ちて行く…







はじめて
貴様を見た時の…
チャンピオンの…
あの自信と希望に
満ち溢れた表情が

このジジイ
最初から
それを見て
ついて…

それが今では
ゼルラーに
飼育された
惨めな肉奴隸

何よりも
クスリに溺れた
バカな自分が
一番、憎かつた

心からの…
満足げな笑みを
浮かべながら
人生の敗者の體内に
思う存分、射精した

萎縮な曲者は…
そんな私の心の内を
見透かした
かのように…

…そして、今日もまた、一つの商談が成立した



それは封印しておきたい… でも、忘れられない凄惨な記憶…





ソウ...ワタシハ、シッティル



その場に駆けつけた看護士達は、そこで目を疑うような：おぞましい光景を目の当たりにする

例の：陰惨な光景
サキの
バラバラ遺体の
発見だ

それが
午前2時過ぎ、
正確には、午前
2時12分の
事だつたら
らしい

※この箇所は、映像表現として不適切と自ら的に判断したため
番号が飛ばしてしまいました



看護士達は、皆
一様に：
その遺体の

当日は、非番で
当然、院内には
いらない筈のサキが

どうして
こんな時間に
こんな場所で
殺害される経緯に
不思議に
感じたそうだ



聖行自体は
人目につき難い
旧病棟内で起こつた
といえ：犯人は

なぜ
こんな場所で：

病院の敷地内は
一般的に
警備が厳重だ

外部からの侵入を
防ぐのは、もとより
実のところ：入院
患者の徘徊・脱走を
予防するためでも
あるらしい



外部犯人説…
通り魔的な犯行だと
しても、または組織の
残党の犯行だとしてもら
わざわざ、そんな院内で
凶行に及ぶ理由が
見当たらない：

内部犯だとしたら
尚更、わざわざ自分の
素性が特定されて
しまう様な場所で
このように痕跡を残す
ものだろうか？

また
犯人：グループの
人物・集団像にも
疑問が残る…

病院に激しい恨みを
持つものの
犯行だとして、も
勤務する看護士一人を
ここまで陰惨な殺し方で
殺害するものだろうか？



捜査当局の見解では
サキ個人：その周辺には
特別、恨みを持たれる
様なトラブルは、存在
しなかつたらしいが…

しかし、サキも
元「人種」：他人に
知られたくないが…
過去など、秘密を
周囲に隠し徹す事には
慣れていたハズだ

後、気になつたのが
：検死の結果だ
死亡推定時刻は
午前0時15分から
午前2時12分の間
の事だと言うのだが
発見された
その日、サキは
非番だったにも
かかわらず…
なぜ、そんな時間に
仕事着を着た状態で
病院内をうろついて
いたのだろうか…





全身が、性感帯になつたみたい…
忘れもしない…
この感覺は…
「DDK」
ッ!



まさか本当に生きていたなんて…



へビに睨まれた
カエルのような
気分だった

「DDK」の効用と
深く身体に
刻み込まれた
数々の屈辱の記憶が
私から、抵抗する
気力を奪っていた



あツ



ハラ



すろー

ヤツは…あの
おぞましい笑みを
浮かべつつ
無様にヒクつく
見下して
いた
私のオ○ンコを



容赦なくヤツが…
ヤツの
おぞましい舌が
侵入してくるツ













To be continued ...

夏の陽光に、きらめく汗…
あの日、勝利の美酒に酔いしれた
健やかで、艶やかな弾乳も
…今や
毎夜、獣共に揉み潰されるだけの
哀れな肉塊でしかなかつた…



for ADULT only